

第1回意見聴取会議資料

総合リハビリテーション支援拠点施設整備に係る基本構想 概要報告

2023年8月24日

目次

1. 基本構想の概要
 - (1) 現状と課題
 - (2) 総合リハビリテーション支援拠点整備構想
 - (3) 拠点整備の基本方針と整備すべき機能の方向性

1. 基本構想の概要

(1) 現状と課題

京都府のリハビリテーション施策の現状と課題

現状

- ・体制：京都府リハビリテーション支援センター（府立医大内・中丹東保健所内）、地域リハビリテーション支援センター（二次医療圏ごとに中核病院を指定（8箇所））、保健所、京都府リハビリテーション教育センター（府立医大等）、京都地域包括ケア推進機構 等
- ・施策：急性期、回復期、維持・生活期のリハを推進
 - 人材の育成・確保・修学資金の貸与
 - 施設の拡充・訪問リハ事業所開設補助
 - 連携体制の構築・関係団体とのリハ連携推進会議等の開催、福祉施設等への訪問相談・研修

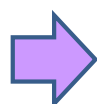
課題

- ・増加する高齢者等へのリハ提供体制の構築
- ・高齢化やコロナ自粛等に伴う外出機会の減少に伴うフレイル予防ニーズの増加
- ・障害児・者の在宅生活に向けたリハニーズの高まり（H25 障害者総合支援法）

リハニーズの多様化



- ・高齢者、障害児・者等のリハビリテーション提供体制の構築
- ・急性期、回復期、維持・生活期まで継続したリハの推進



支援拠点の整備により府域の課題解決を促進

2

1. 基本構想の概要

(1) 現状と課題

府立施設の現状と課題

	心身障害者福祉センター（S53建設）	洛南寮（S57建設）
現状	障害者支援施設：入所・生活介護、短期入所 生活訓練事業所：自立訓練（通所） リハ病院：入院、外来（整形外科、リハ科、神経内科等） 体育館：障害者スポーツ拠点、初心者教室等	救護施設：入所・生活介護、一時入所、地域移行支援 養護老人ホーム：入所・自立支援、介護保険サービス
課題	入所者の地域移行支援 利用者の高齢化、重症化による医療・リハ需要の増加（骨粗しょう症、フレイル、認知症、摂食嚥下障害等） 個室化等入所者の処遇向上 障害者スポーツの実施率の増加への対応	入所者の自立支援、地域移行支援の強化 入所者の介護度の上昇 個室化等入所者の処遇向上 一時入所機能の充実



医療・リハ・介護体制の強化、地域移行機能充実



新施設の整備により課題を解決

※拠点整備場所は検討中

2

3

総合リハビリテーション支援拠点整備構想

課題

- 高齢化への対応強化
- 障害者等の住み慣れた地域での生活、共生社会の推進
- 府立施設の老朽化への対応



総合リハビリテーション支援拠点の整備

- ・ 府内全域のリハビリテーションの推進
- ・ 地域での生活に向けた支援強化
- ・ 府立施設の課題解決・機能強化



新施設で
整備すべき
機能の方向性を
打ち出し

4

拠点整備の基本方針と基本理念

- ・ 障害児へのリハビリテーションは、こども発達支援センターと連携。新施設では障害児も含めたリハビリテーションニーズにも対応できる人材の育成。
- ・ 心身障害者福祉センターの敷地内にある城陽障害者高等技術専門校については、別途あり方について検討を実施。



基本理念『障害児・者や高齢者等が地域で安心して生活できる共生社会の実現』

- ・ 総合的なリハビリテーションの拠点として、先進的なリハビリテーションの取組やモデル事業の実施、リハビリテーションに携わる医師や専門職などの人材育成により、府内のリハビリテーション機能を向上する。
- ・ 誰もが地域で安心して生活できるよう支援体制を構築し、施設入所者の地域移行を促進する。

整備すべき機能の方向性

(1) 府内全域のリハビリテーションの推進

- ① 先進的なリハビリテーションの提供
- ② リハビリテーション人材の育成
- ③ 府内リハビリテーション提供施設への支援、市町村の介護予防事業への支援

(2) 高齢者・障害者等施設機能の強化

- ① 障害者施設機能の強化
- ② 高齢者・生活困窮者等施設機能の強化
- ③ 府域全体の施設機能の向上への貢献

※詳細は参考資料1参照